

## いしぐみいど 「石組み井戸」

- 指 定 千曲市指定史跡 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字新山 161 番地
- 所 有 者 個人
- 概 要 井戸
- 寸法 上部石組み、直径 2.5m 井戸石組み、直径 0.9m、深さ約 3m
- 面積 遺構のみ 5 m<sup>2</sup>
- 時 代 鎌倉時代～戦国時代
- 公 開 いつでも可

昭和 57 年、工事中に見つかり調査を行った結果、石組み井戸が見つかったものです。直径 1.8m、深さ 3m ほどの掘り抜きの<sup>たてあな</sup>堅穴で、その底に大きな平石 4 個で方形の箱型に組んでいます。

この地の豪族、<sup>よりあい</sup>寄合氏の館跡に伴う井戸と推定され、また井戸の埋没の状況が人為的な状態であること、出土品の<sup>ないじどきへん</sup>内耳土器片、<sup>てんもくゆうとうきへん</sup>天目釉陶器片、木片、木ノ実、馬の歯などから、戦国時代のものと考えられます。

